

ストップ地球温暖化

地球にやさしい生活を心がけましょう！

地球温暖化とは？

地球を包む大気に含まれる二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスは、太陽からのエネルギーや、私たちの生活から出る熱などを地球に封じ込め、地表を暖める働きがあります。



二酸化炭素が増え、温室効果ガスが増えると、熱が地上にたまり、さらに地球を暖めてしまいます。これが地球温暖化です。

温暖化が進むとどうなるの？

このまま地球温暖化が進行すると、次のような影響があると予想されています。

① 異常気象の増加

台風や集中豪雨などの自然災害が増加する恐れがあります。また、気候変動により内陸部では乾燥化が進み、沿岸部では海面の上昇で沈んでしまう地域が出てきます。

② 生態系の急変

気温の上昇に適応できない動植物が絶滅します。穀物生産も大幅に減少し、海外から食糧の約60%を輸入している日本はもちろん、世界的にも深刻な食糧難を招く恐れがあります。

③ 感染症の増加

熱帯性の感染症(マラリアなど)が増加します。また、真夏日が増えることにより熱中症が増加することも考えられます。



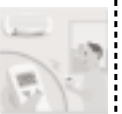
私たちができることは？

私たちの生活を見直し、二酸化炭素の排出を減らすためにはどうすればいいのでしょうか。

【行動①】

冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する。

年間約33 kgのCO₂の削減
年間で約1,8000円の節約



【行動②】
シャワーを1日1分家族全員が減らす。

身体を洗っている間、お湯を流しっぱなしにしないようにしましょう。

年間約69 kgのCO₂の削減
年間で約7,1000円の節約



【行動③】

買い物をし、過剰包装のされていない商品を選ぶ。

レジ袋を断ることで、ごみの減量にもつながります。

年間約58 kgのCO₂の削減



地球温暖化という大きなテーマに対し、一人ができることは小さなことかもしれませんが、一人ひとりの力が集まれば地球規模の大きな力になります。

身近にできる取り組みは、他にもたくさんあります。皆さん、まずは、できることから始めてみましょう。

ごみの回収について

現在、白色トレイ・紙パック・ペットボトルキャップ・自転車・使用済蛍光管・使用済乾電池(自治会の集積所でも回収しています)は役場で拠点回収を行っています。

8月より役場閉庁時の回収方法について次のとおり変更となりました。

回収場所	回収方法等
白色トレイ (きれいに洗ってください)	役場 正面玄関
紙パック (洗って切り開いてください)	
ペットボトルキャップ	
使用済乾電池	役場住民課
自転車(※)	役場 北側駐車場
使用済蛍光管・水銀体温計(※) (割れたものは不燃ごみとして出してください)	役場住民課

★回収場所等がわかりにくい場合は住民課へおたずねください。

◆問い合わせ先

住民課 生活環境交通担当
☎ 6578 有線 7784

～ごみの野外焼却(野焼き)は法律で禁止されています。ごみは適正に処理してください～